

# 平成30年度 旭区区民意識調査

## 報告書 (抜粋版)



「旭区マスコットキャラクター あさひくん」

平成31年1月

横浜市旭区役所

# 目次

---

1. 調査の概要	.....	P.2
2. 調査結果のポイント	.....	P.4
(1) 回答者の属性の概要	.....	P.5
(2) 旭区のイメージ、行政や地域の取組	.....	P.6
(3) 分析結果	.....	P.7

# **1. 調査の概要**

# 調査概要

## 【調査の目的】

旭区の地域特性や生活環境、行政サービス、地域活動、防災、健康・福祉などについて、区民の皆さまの意識やご意見、ご要望を把握することにより、今後も住みよいまちをつくるための基礎資料とする。

## 【調査概要】

調査対象：旭区内に居住する20歳以上の男女3,000人。抽出率1.2%  
(外国人60人を含む)

抽出方法：住民基本台帳と外国人登録原票からの無作為抽出

調査方法：郵送による無記名調査（郵送配付、郵送回収、葉書督促1回）

調査期間：平成30年9月21日（金）から10月22日（月）まで

回収数：1,694件（回収率56.5%）

## 【集計結果の見方】

1. 図（グラフ）の中で使用されている「n=〇〇」は、その設問に対する回答者数をあらわす。
2. 回答の比率（すべて百分率（%）で表示）は、その設問の回答者数を基数（件数）として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。
3. お住いの町丁目名から、下表のとおり回答者を連合自治会町内会に振り分けて連合別の集計分析を行った（連合の区域と一致していない場合がある）。

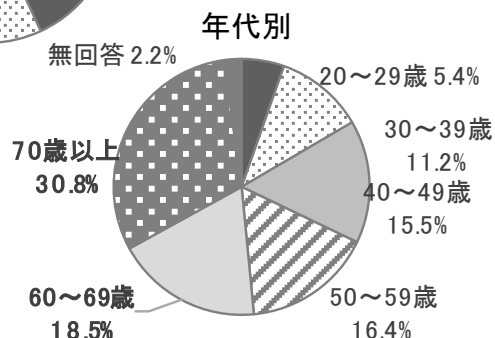
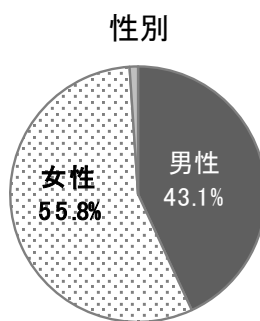
町丁目名	振分け先の連合名	町丁目名	振分け先の連合名	町丁目名	振分け先の連合名	
川島町	鶴ヶ峰地区 町内会連合会	上白根町	上白根連合自治会	中尾二丁目	希望が丘東地区	
三反田町		今宿西町	今宿地区	東希望が丘	連合自治会	
小高町		今宿東町	町内会自治会	善部町	希望が丘南地区	
鶴ヶ峰一丁目		今宿南町	連合会	南希望が丘	連合自治会	
鶴ヶ峰二丁目		上川井町	川井地区 町内会自治会 連合会	さちが丘	さちが丘地区	
鶴ヶ峰本町一丁目		下川井町		連合自治会	柏町	万騎が原連合自治会
鶴ヶ峰本町二丁目		川井宿町		若葉台連合自治会	万騎が原	連合自治会
鶴ヶ峰本町三丁目		川井本町			今宿一丁目	二俣川ニュータウン 連合町内会
西川島町		都岡町	今宿二丁目	中沢一丁目		
白根一丁目	白根地区 町内会自治会 連合会	矢指町	中沢二丁目	中沢三丁目		
白根二丁目		若葉台一丁目	二俣川地区 連合自治会	今川町	旭中央地区	
白根三丁目		若葉台二丁目		四季美台	連合町内会	
白根四丁目		若葉台三丁目		旭南部地区 連合自治会	大池町	旭南部地区 連合自治会
白根五丁目		若葉台四丁目	桐が作			
白根六丁目		金が谷	希望が丘連合自治会		南本宿町	
白根七丁目		金が谷一丁目			本宿町	左近山連合自治会
上白根一丁目	金が谷二丁目	左近山				
上白根二丁目	笹野台一丁目	希望が丘東地区 連合自治会		市沢町	市沢地区	
上白根三丁目	笹野台二丁目		連合町内会			
白根町	笹野台三丁目	希望が丘東地区 連合自治会				
白根八丁目	笹野台四丁目					
中白根一丁目	旭北地区 連合自治会	中希望が丘				
中白根二丁目		今宿町				
中白根三丁目		中尾一丁目				
中白根四丁目						

## **2. 調査結果のポイント**

# (1) 回答者の属性の概要

## 1. 性・年齢

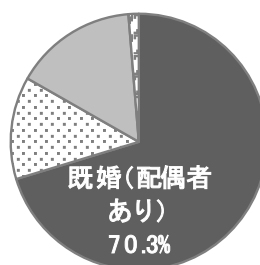
- 女性が55.8%で、男性よりも多い。
- 年代では60歳以上が全体の約半数を占める。



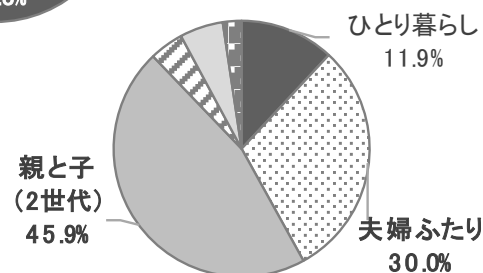
## 2. 家族構成

- 7割が既婚。そのうちの約4割が共働き。
- 家族構成では、「親と子（2世代）」が半数弱で最も多く、次いで「夫婦ふたり」が3割、「ひとり暮らし」が1割強。
- 子育て終了家族※が全体の半数弱。また、子どものいない家族が全体の2割弱。  
※子どもが学校教育を終了した家族をいう
- 65歳以上の同居家族ありの割合は4割を超える。

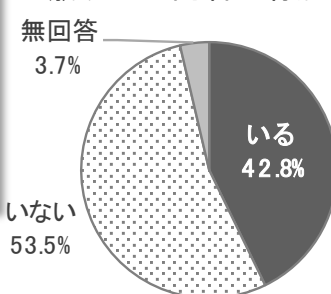
婚姻状況



同居家族構成



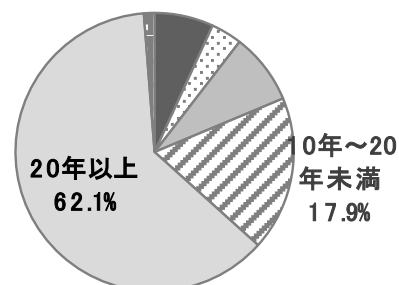
65歳以上の同居の有無



## 3. 居住年数・住居

- 居住年数は「20年以上」が62.1%で最も多い。「10~20年未満」と合わせると全体の8割を占める。
- 住居タイプは「持家（一戸建て）」が6割弱で最も多い。

居住年数



## (2) 旭区のイメージ、行政や地域の取組

### 1. 旭区のイメージ

- 旭区に住み続けたい方が 8 割弱。
  - ✓ 子育て終了家族※で高く、子どもがいない50歳未満の方や末子が高校・大学生の家族で低い。 ※子どもが学校教育を終了した家族をいう
- 旭区は、住みやすいと思っている方が増加傾向で 5 割強。
  - ✓ 特に末子が未就学児の家族で高い。
- 旭区は、生活環境に満足している方が 5 割強。
  - ✓ 特に20～39歳の若い年代の満足度が高い。
  - ✓ この年代は「バスや鉄道の利便性」、「最寄り駅周辺の整備」を高評価。
- 公園や緑地に関する評価が増加。
  - ✓ 旭区の誇れること、生活環境満足度の 1 位は公園に関係する項目。
  - ✓ 女性20～39歳が「大規模な公園」を誇れることとして高評価。
  - ✓ 男性の60歳以上、女性の75歳以上が「緑（公園）が多い」を住みやすい点として高評価。

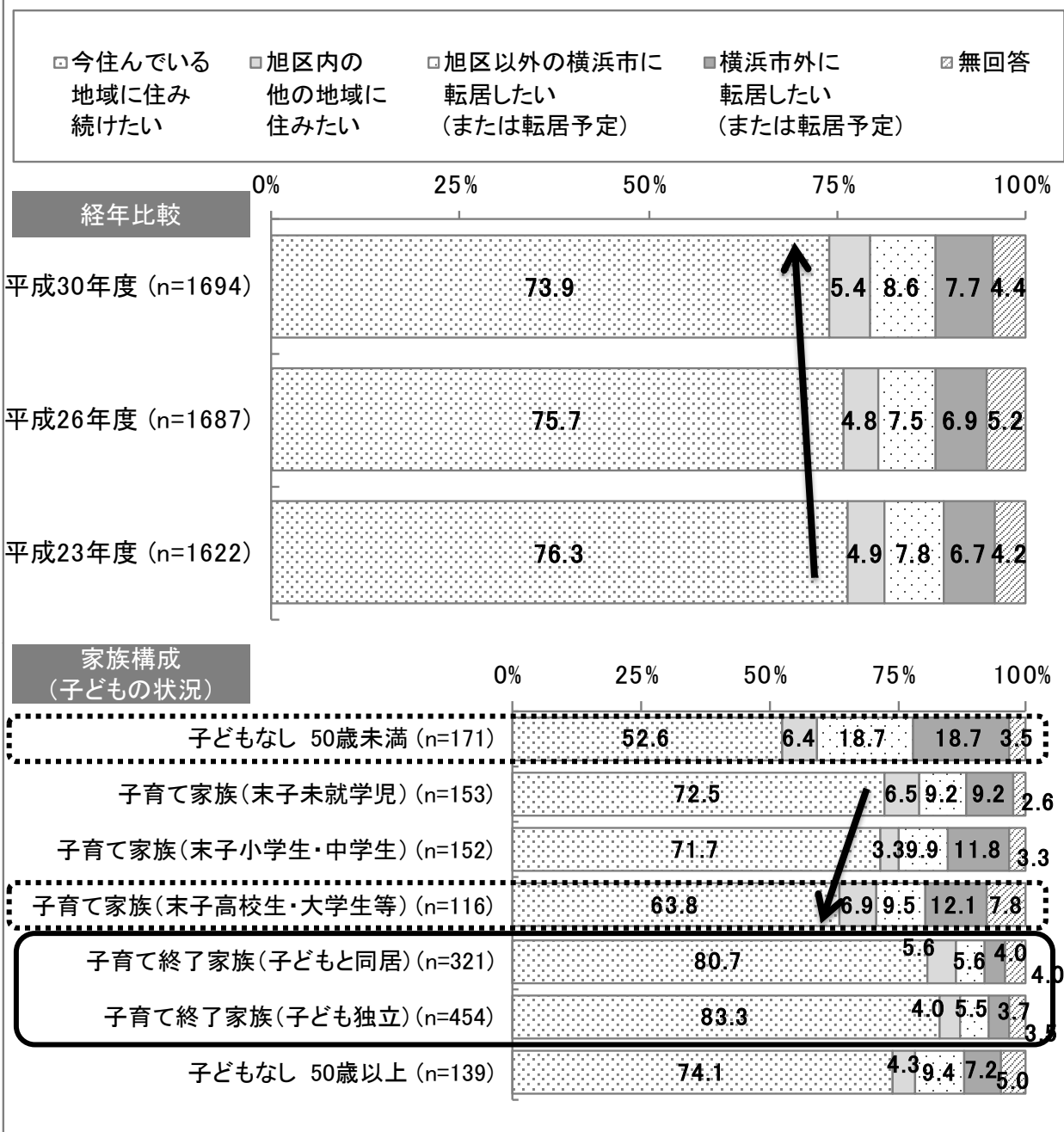
### 2. 行政や地域の取組

- 行政に期待する取組の上位は生活に密接に関わる項目。
  - ✓ 「歩きやすい道路の整備」、「バスや鉄道の利便性」、「高齢者福祉」、「災害対策」、「商店街振興などのまちの活性化」など生活利便性や安心安全に関わる取組に対する期待が高く、かつ増加傾向。
  - ✓ そのうちの「歩きやすい歩道の整備」や「商店街振興などのまちの活性化」、「高齢者福祉」は取組に対する満足度が低い。
- 災害時への備えは、地域が取り組むべきものとしての認識が高まる。
  - ✓ また、家庭での備えとして、飲料水や非常用食料品の備蓄は増加しているが、「携帯ラジオ・懐中電灯の用意」、「消火器の設置」、「家具などの転倒防止策」、「風呂の水のため置き」は減少傾向。
- 区が推奨しているウォーキングに取り組む方は、住み心地を高評価。
  - ✓ ウォーキングに取り組む方はそうでない方よりも住み心地を高く評価する方が約 1 割多い。
  - ✓ ウォーキングに取り組む方の 6 割が60歳以上のシニア層。

### (3) - 1 分析結果：旭区の定住意向

- 「今住んでいる地域に住み続けたい」という定住意向は、平成30年度は73.9%と高いレベルにあるが、平成23年度から緩やかな減少傾向にある。
- 同居や別居に関わらず子どもが学校教育を終了した家族は、他に比べて定住意向が高い。
- 子どもがいない50歳未満の方は、他に比べて定住意向が最も低く、旭区以外への転居意向が高い。
- 末子が高校生や各種学校・専修・専門学校、短大・大学・大学院在学中の子育て家族も他に比べて定住意向が低い。

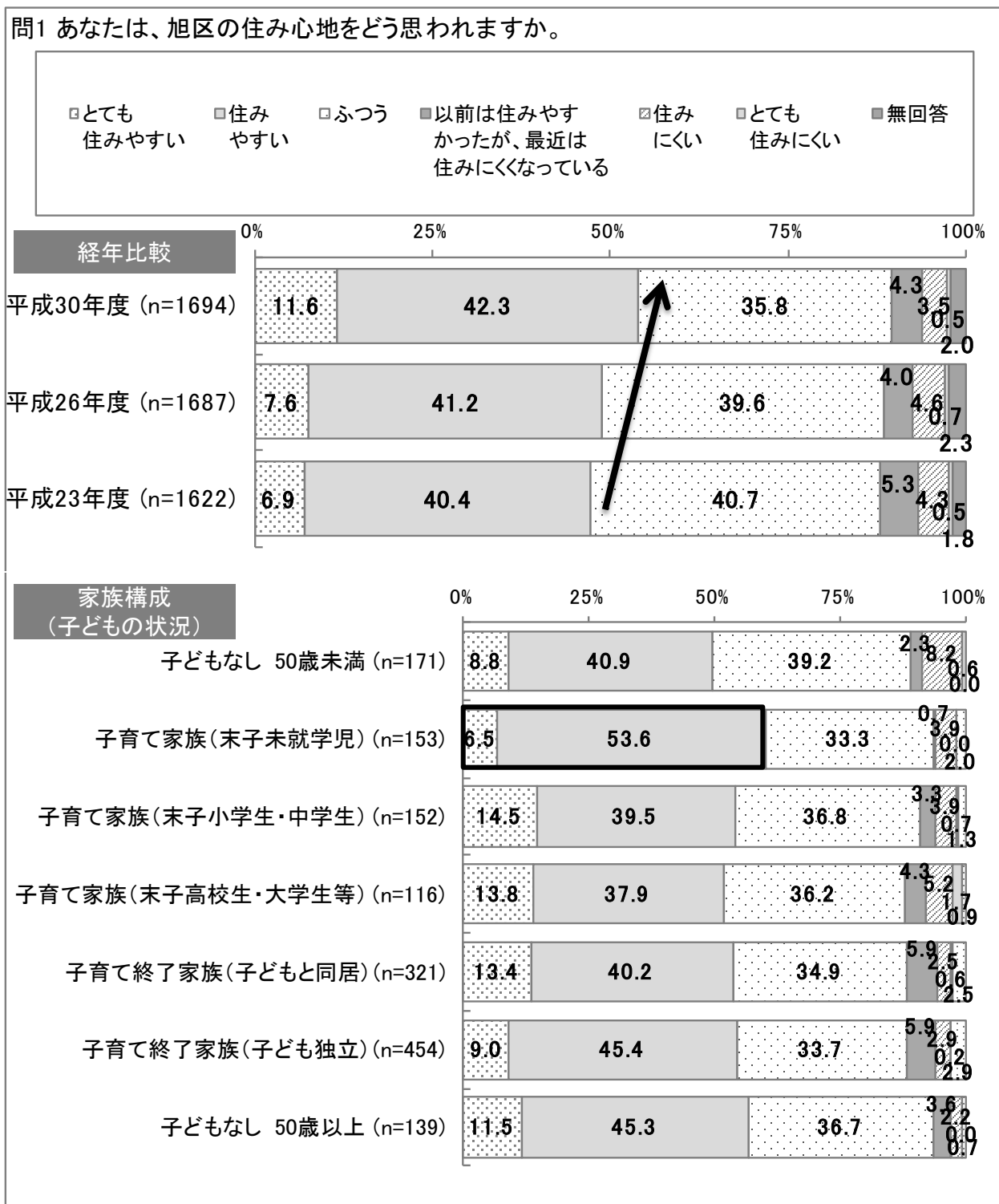
問4 あなたは、これからずっと今お住まいの地域に住み続けるお気持ちですか。





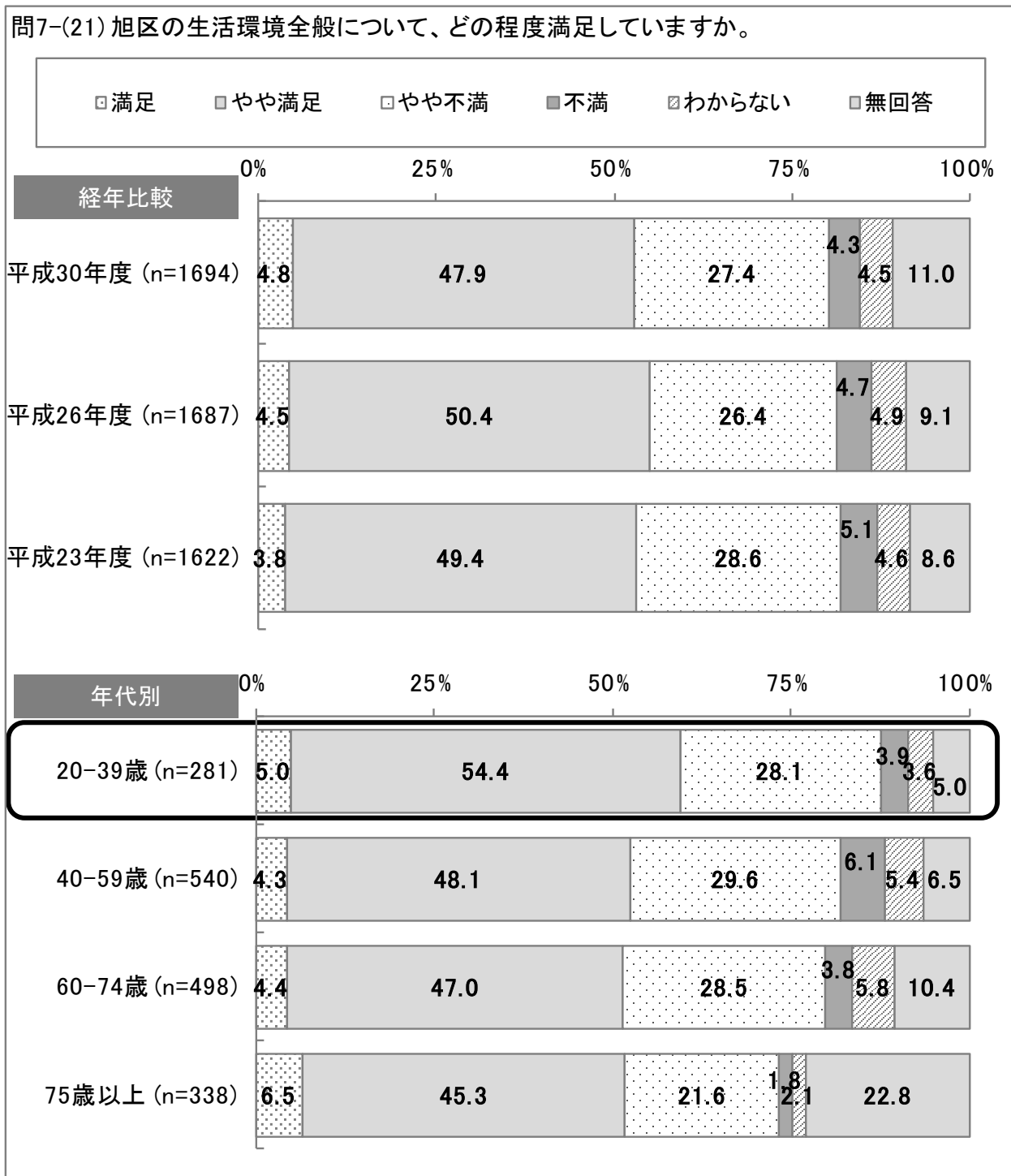
### (3) - 2 分析結果：旭区の住み心地

- 「とても住みやすい」と「住みやすい」を合わせた、住み心地を高く評価した割合は、平成23年度から増加傾向にあり、平成30年度で初めて過半数を超えた。
- 特に末子が未就学児の子育て家族で「住みやすい」評価が高い。



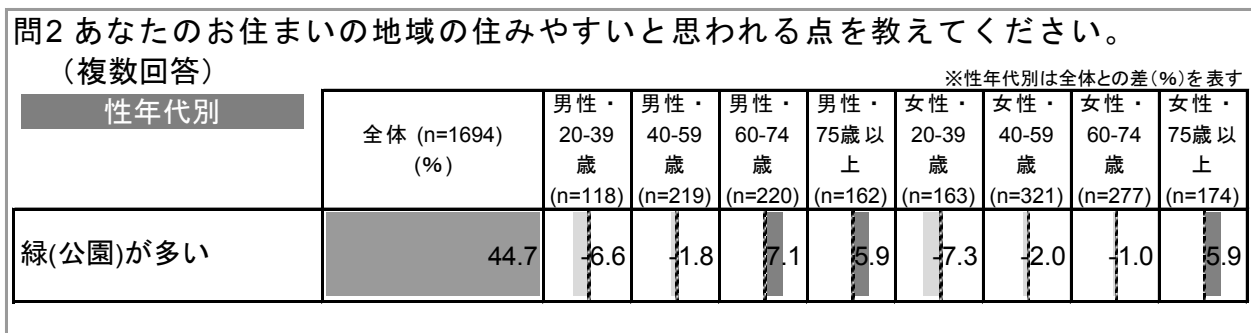
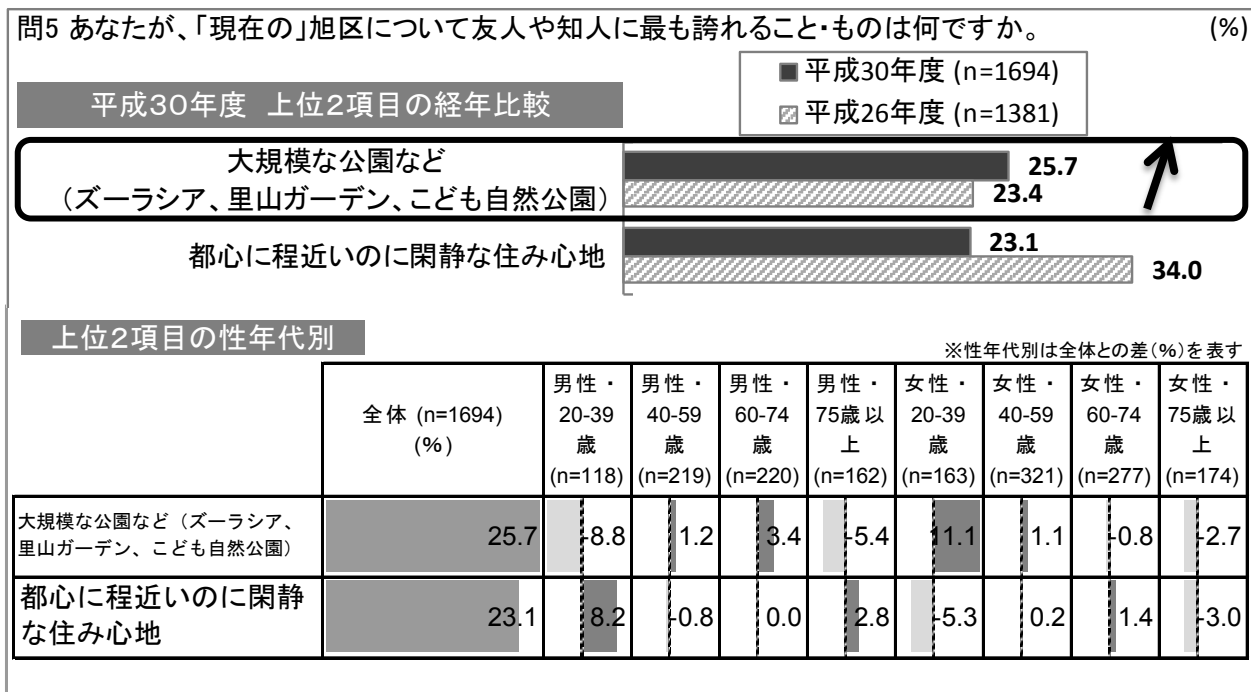
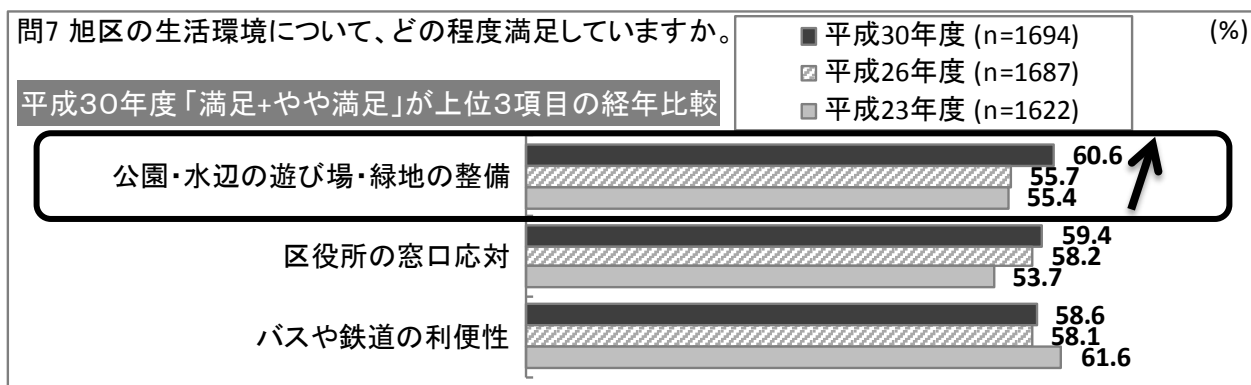
### (3) - 3 分析結果：旭区的生活環境の満足度

- 「満足」と「やや満足」を合わせた、生活環境の満足度を高く評価した割合は、平成23年度から継続して半数を超えた。
- 特に20～39歳の若い年代の数値が59.4%と高い。



### (3) - 4 分析結果：旭区の評価

- 生活環境に対する満足度や旭区について誇れることを高く評価する割合は、公園に関する項目が一番高くなっている。どちらにおいても前回調査から評価が向上しており、公園や緑地などを旭区の良い点と認識している人が増えていることがうかがえる。
- 旭区について誇れることを性年代別に見ると、「大規模な公園」は特に女性20～39歳が高く、「都心に程近いのに閑静な住み心地」は男性20～39歳が高い。
- 一方、「住みやすい点」を性年代別に見ると、「緑（公園）が多い」に対しては、男性が60歳以上、女性が75歳以上でより高く評価している。

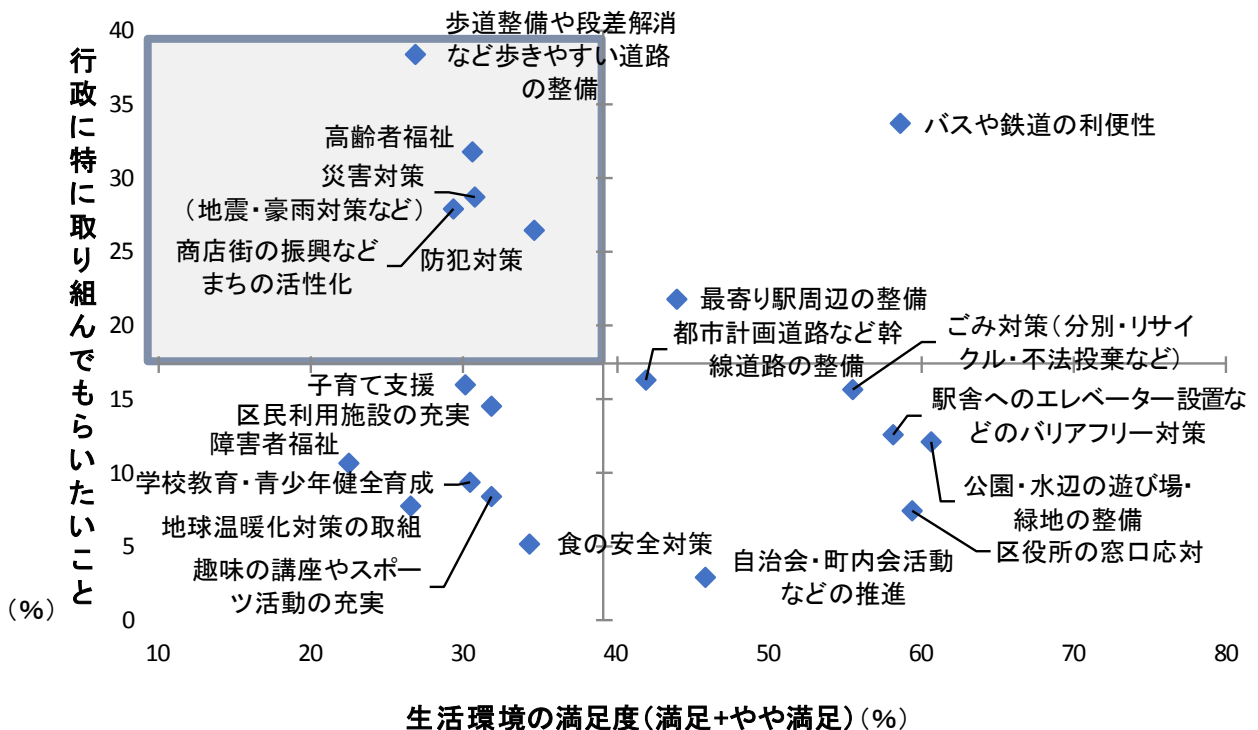
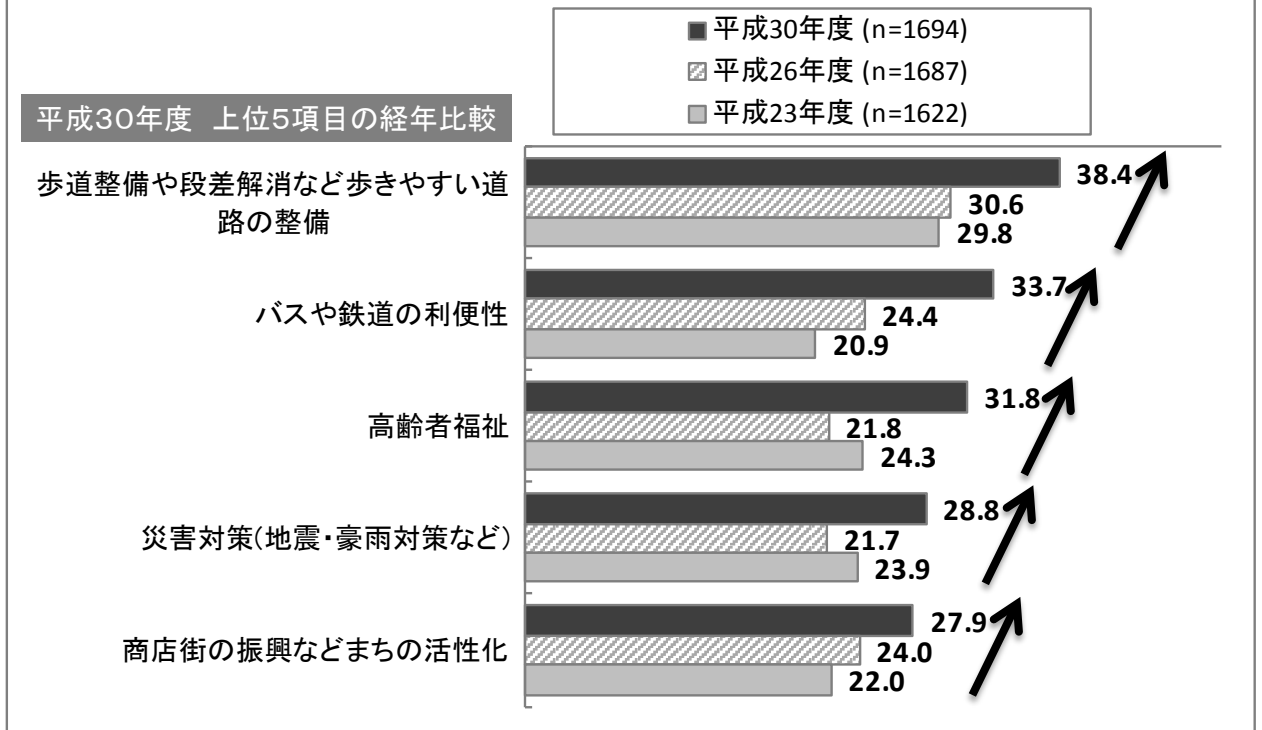


【報告書の中で関連するページ】P25、26、34、35、40、41、42

### (3) - 5 分析結果：行政に特に取り組んでもらいたいもの

- 上位5項目の「歩道の整備や段差の解消など歩きやすい道路の整備」や「バスや鉄道の利便性」、「高齢者福祉」、「災害対策（地震・豪雨対策など）」、「商店街の振興などまちの活性化」は、経年比較でも上昇している。
- 「歩道の整備や段差の解消など歩きやすい道路の整備」や「高齢者福祉」、「災害対策（地震・豪雨対策など）」、「まちの活性化」、「防犯対策」は、行政に特に取り組んでもらいたい度合いが高く、満足度が低い。
- 「バスや鉄道の利便性」は行政に特に取り組んでもらいたい度合いが高く、満足度も高い。
- 「公園・水辺の遊び場・緑地の整備」や「区役所の窓口対応」は、行政に特に取り組んでもらいたい度合いが低く、満足度が高い。

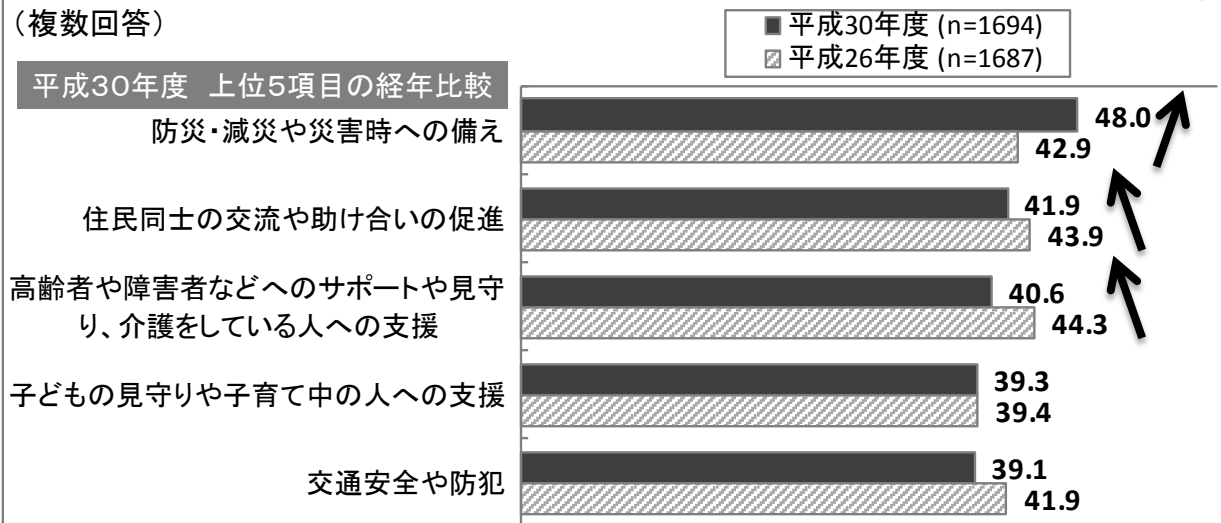
問7 行政に特に取り組んでもらいたいものは何ですか。(回答は5つまで) (%)



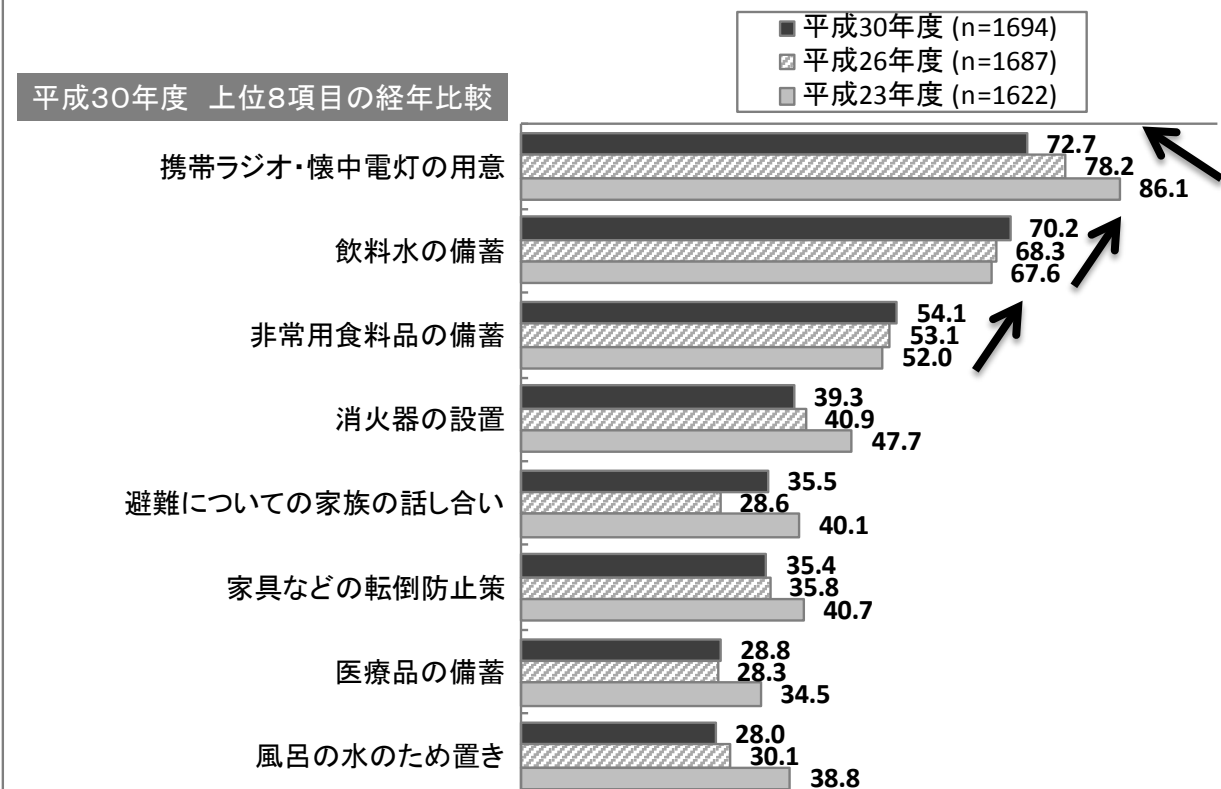
## (3) - 6 分析結果：地域の住民同士が取り組むべきもの

- 「防災・減災や災害時への備え」は平成26年度に比べ5ポイント増加している。同時に、災害対策は行政に取り組んでもらいたい度合いが上昇している項目でもある。
- 家庭における備蓄について平成23年度から上昇傾向にある項目は、2位の「飲料水の備蓄」と、3位の「非常用食料品の備蓄」である。
- 「住民同士の交流や助け合いの促進」、「高齢者や障害者などへのサポートや見守り、介護をしている人への支援」は平成26年度に比べ、やや減少している。一方で、高齢者福祉や障害者福祉は行政に取り組んでもらいたい度合いが上昇している項目である。

問20 地域の住民同士が取り組むべきものには、どのようなものがあると思いますか。 (%)  
(複数回答)



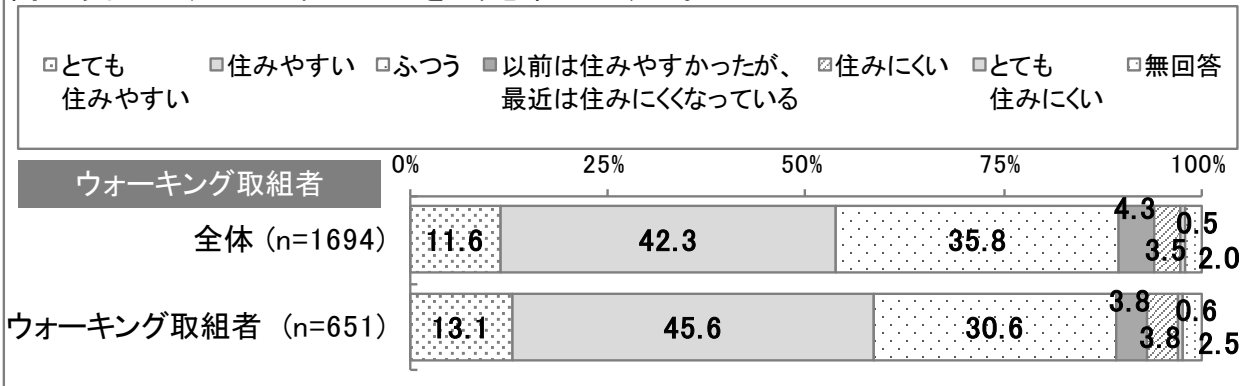
問10 あなたの家庭では、震災などの災害に対する備えをしていますか。(複数回答) (%)



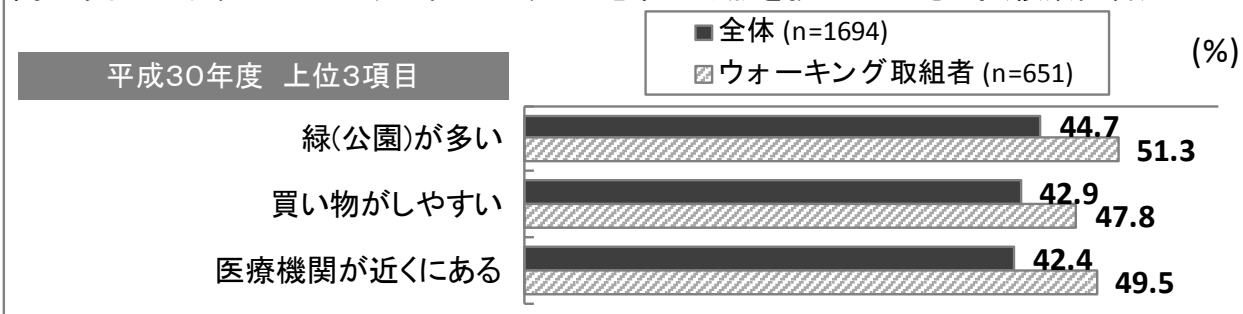
### (3) - 7 分析結果：ウォーキング

- ウォーキング取組者の住み心地に対する評価は高い。
- ウォーキング取組者の6割以上は60歳以上のシニア層が中心である。一方、一日の平均歩数が10,000歩以上と8,000歩以上の割合は若い年代の方が高く、20～59歳が高い。

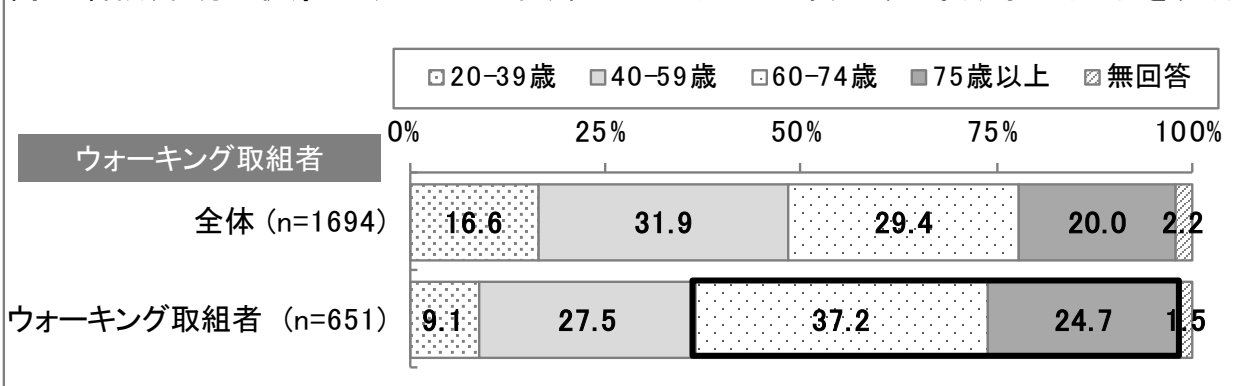
問1 あなたは、旭区の住み心地をどう思われますか。



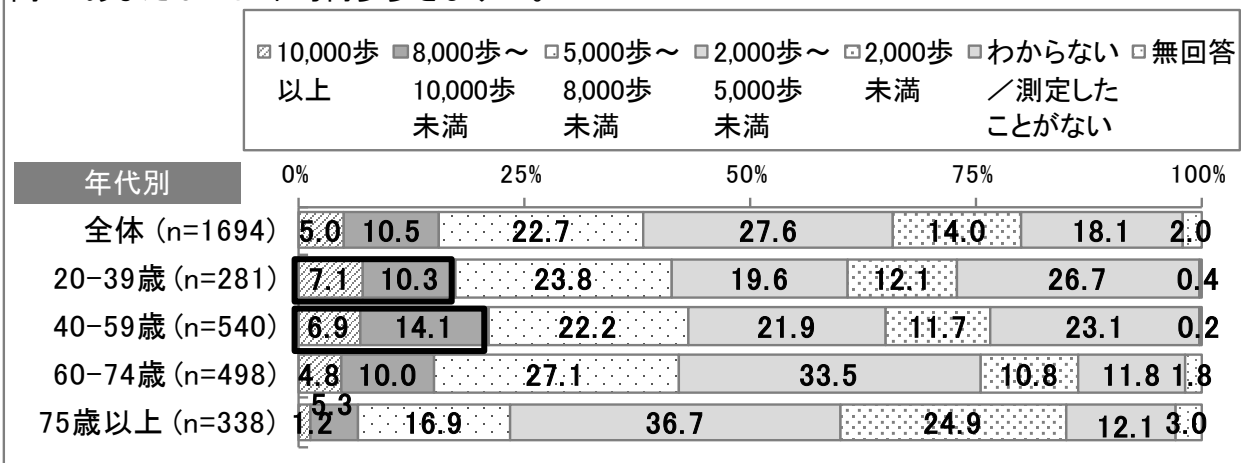
問2 あなたのお住まいの地域の住みやすいと思われる点を教えてください。(複数回答)

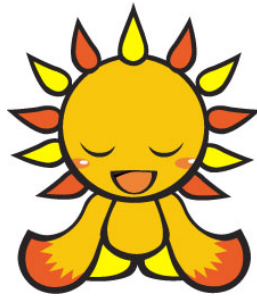


問27 普段、自分の健康づくりのために取り組んでいることはありますか。(ウォーキングをする)



問28 あなたは一日平均何歩歩きますか。





「旭区マスコットキャラクター あさひくん」

旭区区民意識調査にご協力いただき、  
ありがとうございました

発行

横浜市旭区役所 区政推進課 企画調整係

〒241-0022 横浜市旭区鶴ヶ峰1丁目4-12

電話 045-954-6026

FAX 045-951-3401

e-mail [as-kikaku@city.yokohama.jp](mailto:as-kikaku@city.yokohama.jp)